

「子育てに優しいまち」の 実現に向けて4億円の増

平成28年東海村議会第一回定例会は3月1日に開会し、9日から14日の日程で、各会派代表による代表質問（4人）と一般質問（9人）が行われた。

また15日からは、新年度予算（「子育てに優しいまち」の実現に向けた事業予算など）や平成



27年度補正予算について、「一般会計予算決算委員会」（10人）と「特別会計予算決算委員会」（9人）に分かれて審査を行った。

24日の最終日には、平成28年度東海村一般会計予算などを含む48議案と報告2件および承認1件を原案通り可決・承認し、副村長の選任と農業委員の人事案16件及び諮問1件を同意した。

また、議員提出の意見書案（東海第二発電所の安全審査を早急に行うことを国に求める意見書）を賛成多数で可決した。

〈発議第1号 東海第二発電所の安全審査を早急に行うことを国に求める意見書について〉



東海村議会は3月24日、「東海第二発電所の安全審査を早急に行うことを国に求める意見書（案）」を可決した。

意見書では、「東海村は原子力とともに発展し共存共栄してきた村である。東海第二発電所への原子力規制委員会の審査が遅れていることにより、発電所の安全対策工事が本格化しないことから議論が先に進まず、住民の不安が払しょくできない。そのため村内の業種に影響が出て、経営が厳しい状況にある」として、国に安全審査を早急に進めることを求めた。

本会議では、「商工会からの請願がきっかけとなって、意見書が提出されたのか」「実際に審査が遅れているという事実を規制委員会に確認したのか」「原子力規制委員会への意見書の提出は一地方議会の権限をゆうに超えている」など、4人が反対の立場で質疑を行った。